

2016-17年度ライオン誌日本語版委員会 第8回会議 報告書

日 時：2017年3月6日(月)13:30～16:30

場 所：一般社団法人 日本ライオンズ 事務所

出席者：国際理事	佐藤 宜之 (大分ライオンズ)
国際理事	中村 泰久 (埼玉県・大宮北ライオンズ)
委員長	石井 博之 (334複合地区／三重県・津中央ライオンズ)
編集長	佐藤 義則 (332複合地区／宮城県・蔵王ライオンズ)
委員	久津間康允 (330複合地区／神奈川県・小田原白梅ライオンズ)
委員	佐々木忠康 (331複合地区／北海道・小樽ライオンズ)
委員	渡邊 信也 (333複合地区／新潟県・亀田ライオンズ)
委員	矢野 敏明 (336複合地区／島根県・松江葵ライオンズ)
委員	小柴 登司 (337複合地区／沖縄県・浦添ウエストライオンズ)
事務所長	近藤 正彦 (330複合地区／東京八王子陵東ライオンズ)
欠席者：国際理事	安井 克之 (北海道・旭川東ライオンズ)
委員	中村 房雄 (335複合地区／大阪府・泉大津ライオンズ)
ITアドバイザー	荘 英 隆 (東京恵比寿ライオンズ)
ITアドバイザー	辰巳 博昭 (兵庫県・神戸須磨ライオンズ)



石井委員長の開会あいさつに続き、佐藤国際理事から一般社団法人設立に伴うライオン誌日本語版委員会関連の複合地区会則改正案について説明を受けた。その後、佐藤、中村両国際理事からあいさつと国際関係報告があり、続いて石井委員長、佐藤編集長の進行で議事に入った。

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営 (別紙-月次決算報告)

1月度の収支計算書を基に会計担当者から説明があった。現時点でまだ国際協会補助金の入金がないため収入の部の「国際協会補助金」は概算計上となっている。その中で、今年度は円安傾向にあることから月次では約121万円、期首からの累計では約613万円の黒字となっている (※一般社団法人設立に伴う特別な会費収入220,376,760円を除く)。

2. 2017年3月号(2月20日見本／95,400部発行)出来

主要記事を紹介し、委員から意見を求めた。今月号の特集は「LCIフォーワード」。「国際理事だより」は安井克之国際理事、「編集室」は石井博之委員長の担当だった。特集に関しては、前回会議での指摘に基づき、国際本部の要請により掲載された記事であることを明示した。また、ライオンズ・ニュース・カセットで紹介したライオン誌日本語版デジタルについては、試験運用開始時に国際協会公式サイトからリンクがされていない状態だったが、その後、国際本部に要請してリンクを変更してもらい、現在は日本語版の他、インド版、韓国語版が国際協会共通プラットフォームでのデジタル版の運用を開始している。

3. 2017年4月号記事内容の確認

事前に送付された4月号校正を基に、記事の内容を検討した。特集は「アラート（災害支援）」で、行政やボランティアセンターと連携しての後方支援など、ライオンズクラブとして取り組める現実的なアラート活動を中心に取上げた。「国際理事だより：佐藤宜之国際理事」、「編集室：渡邊信也委員」。今月は国際協会からの指定記事配信が大幅に遅れた上、LCIFに関する通常の連載が配信されなかったため、ページの差し替えを行いライオンズ・ニュース・カセットの記事を増やし対応する。

4. 2017年5月号台割(案)と主要記事予定

2017年5月号以降の台割案と主要記事予定が提出された。

5月号特集は「LCIF」で、山田實紘LCIF理事長からの寄稿と毎年指定記事として配信されるLCIF年次報告を中心に組む。「国際理事だより：中村泰久国際理事」、「編集室：佐藤義則編集長」。

6月号特集は「糖尿病の実態」で、渡邊委員の協力を得て専門家による基調原稿を掲載すると共に、海外の事例も含めた糖尿病関連アクティビティを紹介する。「国際理事だより：安井克之国際理事」、「編集室：佐々木忠康委員」。

主要記事のうち、7月号特集「100周年記念アクティビティ」は地区、複合地区レベルの奉仕活動を紹介することとし、各地区・複合地区からの情報を整理し、特集で紹介する奉仕活動と、ニュースとして掲載する事業企画を分類した一覧が提出され承認された。その他、8月号「シカゴ国際大会」、9月号「子どもの貧困」を取り上げる。

5. ライオン誌デジタル化

- デジタル化アンケートの最終集計（2月28日現在／回答率58.5%／回答会員約5万2千人※別紙ライオン誌デジタル化アンケート）の結果が提出された。現在のライオン誌電子版の認知度は47.3%で、今後、本誌等を通じて更に周知を図る必要がある。また、デジタル版への期待で回答が多かったのは「さまざまな端末で読める」「文字の拡大が出来る」「過去の記事の検索が出来る」などで、これらは全て現在の電子版でカバーされているが、それぞれ10%強の回答があった「拡張性」と「速報性」については今後の課題として残っている。印刷版発行への意見としては、「印刷版は現行程度の質と量を維持し、国際協会補助金と特別負担金の範囲内で発行出来る分がいい」が73.9%と圧倒的多数となり、「国際協会補助金と特別負担金の範囲内でページ数を減らしてでも毎月印刷版を発行してほしい」16.7%を加えると、9割を超える人が印刷版の継続を望んでいることから、委員会としてこのアンケートを軸に今年度中に方向性を確定させる。
- 委員会としてはこれまで、経費削減を図りながら年11回ないし12回の印刷版発行を維持する場合のシミュレーションを行い、現在のページ数から8ページ減らした52ページ建てで若干薄い用紙に変更する案を軸に検討してきた。しかし今回、上記アンケートの印刷版発行に関する回答で最も多かった「現行程度の質と量を維持」を尊重し、現在と全く同じ60ページ建て同一用紙での見積を取ったところ、前回シミュレーションより年間で約340万円高くなり、更に取材や連載記事等も現状を維持した場合、印刷版を発行出来る回数は年に9回ないし10回程度になる。これを踏まえて各委員から意見を求めた。その結果、「現行程度の質と量」の解釈が委員により若干異なること、また今回の国際協会提案のデジタル化では不十分であり将来に備えて日本語版としてデジタル化を更に一歩進めるべきとの意見もあり、印刷版発行回数や委員会の開催回数、印刷版とは異なる

るデジタル版制作を推進した場合のコストなど、現在の直接出版費以外の経費削減や、デジタル化推進に伴う新たな費用発生の可能性も含め、複数のシミュレーションを作成して次回委員会で結論を出したい。

6. その他

- 事前資料として送付されたライオン誌サポーター・アンケートの内容を確認した。

閉会あいさつ 石井博之委員長

【次回以降委員会開催予定】

4月5日(水)	13:30~16:30	第9回会議	日本ライオンズ事務所
5月10日(水)	13:30~16:30	第10回会議	日本ライオンズ事務所
6月8日(木)	13:30~16:30	第11回会議	日本ライオンズ事務所

ライオン誌日本語版事務所
2016-2017 年度収支計算書

2017年1月

(収入の部)

科	目	予 算 額	当月執行額	累 計 額	残	高	摘	要
項	目							
購	読料収入	111,220,000	10,014,875	71,658,565	39,561,435			
	国際協会補助金	55,500,000	5,341,875	39,161,115	16,338,885			
	会 費	55,500,000	4,673,000	32,385,200	23,114,800			
	翻訳料補助金	220,000		112,250	107,750			
ライオン誌	送料	49,000,000	4,271,371	29,607,193	19,392,807			
広 告 料	収 入	2,500,000		2,159,568	340,432			
そ の 他	収 入	2,550,000	96,839	2,053,205	496,795			
	頒布品収支差額	1,000,000	96,839	590,192	409,808			
	受 取 利 息	50,000		17,596	32,404			
	雑 収 入	1,500,000		1,445,417	54,583			
特 別	収 入	220,376,750		220,376,750				
	特別の会費	220,376,750		220,376,750				
合	計	385,646,750	14,383,085	325,855,281	59,791,469			

(支 出 の 部)

科 目	予 算 額	当 月 執 行 額	累 計 額	残 高	摘 要
項 目					
直 接 出 版 費	106,640,000	8,975,440	63,343,238	43,296,762	
印 刷 費	33,600,000	2,840,918	19,900,338	13,699,662	注1
送 送 事 務 費	13,800,000	1,158,138	8,079,280	5,720,720	注2
ラ イ オ ン 誌 送 料	49,000,000	4,271,371	29,905,987	19,094,013	注3
旅 費 交 通 費	5,000,000	301,933	2,401,940	2,598,060	
編 集 関 係 諸 費	235,000	16,980	175,148	59,852	
原 稿 料 ・ 編 集 費	5,000,000	386,100	2,876,920	2,123,080	
広 告 関 係 諸 費	5,000		3,625	1,375	
そ の 他					
委 員 会 費	6,150,000	318,900	2,105,719	4,044,281	
旅 費 交 通 費	5,000,000	318,900	1,986,840	3,013,160	
会 議 費					
統 合 関 連 費	1,000,000			1,000,000	
雑 費	150,000		118,879	31,121	
資 料 整 備 費	5,700,000		6,139,800	△ 439,800	
事 務 費	50,980,000	3,878,822	27,761,964	23,218,036	
人 件 費	30,000,000	2,498,169	17,487,183	12,512,817	
福 利 厚 生 費	5,700,000	393,058	2,335,233	3,364,767	
旅 費 交 通 費	1,000,000	103,568	725,604	274,396	
通 信 費	1,500,000	15,792	703,112	796,888	
事 務 用 品 費	800,000		335,862	464,138	
図 書 費					
備 品 ・ 消 耗 品 費	50,000		13,616	36,384	
I T 関 連 費	2,400,000	181,656	1,347,192	1,052,808	
支 払 手 数 料	80,000	4,050	46,494	33,506	
保 守 ・ 修 繕 費					
借 室 料	8,300,000	624,056	4,368,392	3,931,608	
水 道 光 熱 料	400,000	29,853	194,071	205,929	
減 価 償 却 費	250,000			250,000	
雑 費	500,000	28,620	205,205	294,795	
固 定 資 産 廃 棄 損					
(収 入) - (支 出)	216,176,750				
繰 越 収 支 差 額 金					
当 期 収 支 差 額 金		1,209,923	226,504,560	△ 226,504,560	注4
合 計	385,646,750	14,383,085	325,855,281	59,791,469	

注1 2月号95,200部発行。@27.64

注2 2月号発送手数料： 個人発送（2012クラブ・61,067冊）714,137円

クラブ発送（1079クラブ・32,389冊）323,100円

2月号掲載誌、有料誌、PR誌送料送料及び発送手数料他、120,901円

注3 2月号送料：個人発送@62×61,067人=3,786,154円、クラブ発送（1097件）485,217円

注4 「特別の会費」収入を除く2016-17年度収支差額累計額 6,127,810円

ライオン誌デジタル化アンケート

●2017年2月28日24:00現在

クラブ数：3,095

回答：1,810クラブ（回答率58.5%）

1. 所属複合地区

1) 330複合地区	215/452	47.6%
2) 331複合地区	140/209	67.0%
3) 332複合地区	178/356	50.0%
4) 333複合地区	230/391	58.8%
5) 334複合地区	324/429	75.5%
6) 335複合地区	268/429	62.5%
7) 336複合地区	243/430	56.5%
8) 337複合地区	212/399	53.1%

2. 結成して今年で何年になりますか

1) 10年未満	83	4.6%
2) 10～19年	148	8.2%
3) 20～29年	194	10.7%
4) 30～39年	285	15.7%
5) 40～49年	432	23.9%
6) 50年以上	668	36.9%

3. 平均年齢

1) 20代	2	0.1%
2) 30代	3	0.2%
3) 40代	49	2.7%
4) 50代	447	24.7%
5) 60代	1,192	65.9%
6) 70歳以上	117	6.5%

4. 貴クラブの皆さんは、ふだんどの程度ライオン誌を読まれていますか。（回答数51,764人）

1) ほとんどの記事をよく読んでいる	7,506	14.5%
2) 関心のある記事だけ読んでいる	15,148	29.3%
3) さっと目を通す程度	16,599	32.1%
4) ほとんど読まない	10,900	21.1%
5) 全く読まない	1,611	3.1%

5. ライオン誌では、パソコンやスマートフォン、タブレットなどで読める電子版を配信していますが、これらをご存じですか（回答数52,075人）
- | | | |
|------------------------|--------|-------|
| 1) 知っているし、利用したことがある | 5,189 | 10.0% |
| 2) 知っているが、利用したことはない | 19,407 | 37.3% |
| 3) 知らなかったが、今後は利用してみたい | 15,036 | 28.9% |
| 4) 知らなかったし、利用したいとは思わない | 12,443 | 23.9% |
6. ライオン誌デジタル版に、どのようなことを期待されますか（複数回答可）
- | | | |
|------------------------------|--------|-------|
| 1) スマホ、タブレット、PC等のさまざまな端末で読める | 23,142 | 20.3% |
| 2) 過去の記事の検索が出来る | 17,313 | 15.2% |
| 3) 文章の読み上げ機能 | 7,633 | 6.7% |
| 4) 文字の拡大が出来る | 17,971 | 15.8% |
| 5) 動画など紙媒体にはないコンテンツが見られる | 9,731 | 8.5% |
| 6) 速報性がある | 11,909 | 10.4% |
| 7) 補足情報や関連サイトのリンクなど拡張性 | 12,844 | 11.3% |
| 8) 簡単に持ち歩ける | 6,825 | 6.0% |
| 9) 期待することはない | 5,556 | 4.9% |
| 10) その他 | 1,085 | 1.0% |
7. 設問6 - 選択肢10その他の自由記入欄（省略）
8. 国際協会では、2018年1月から公式版ライオン誌への補助金を現行年6ドルから4ドルに減額し、印刷版の発行回数を年4回以上とすると共に、それらのデジタル版を作成することを義務付けています。貴クラブとして、印刷版の発行についてどのようにお考えになりますか。ご意見をお聞かせください。※ちなみに、ライオン誌の発行は国際協会補助金と、会員1人当たり月額50円の特別負担金で賄われています（回答数44,021人）
- | | | |
|---|--------|-------|
| 1) 2018年以降、印刷版は現行程度の質と量を維持し、国際協会補助金と特別負担金の範囲内で発行出来る分がいい | 32,545 | 73.9% |
| 2) 国際協会補助金と特別負担金の範囲内で、ページ数を減らしてでも毎月印刷版を発行してほしい | 7,371 | 16.7% |
| 3) 現行月額50円の特別負担金を、例えば100円に増額して、現行と同じ程度の印刷版を毎月発行してほしい | 2,222 | 5.0% |
| 4) その他 | 1,883 | 4.3% |
9. 設問8 - 選択肢4その他の自由記入欄（省略）
10. ライオン誌の電子化についての意見自由記入欄（省略）